

11月1日は静岡市「お茶の日」です

なぜ11月1日なの？



11月1日は静岡市(葵区栢沢)出身の「静岡茶の祖」と言われる聖一国師の生誕の日です。新茶の時期だけでなく、一年を通してお茶に親しんで欲しいとの願いが込められています。



聖一国師肖像

(写真提供 東福寺)



東福寺の紅葉



静岡市の茶畑

聖一国師はこんなにすごい人！

1 みんなが飲んでいる静岡茶の祖

建仁2年(1202)駿河国安倍郡栢沢(静岡市)に生まれ、仏教の修行にいていた宋(現在の中国)から持ち帰ったお茶の種を葵区足久保に播いたのが、静岡茶の始まりだと言われています。

2 京都 東福寺などを開山

紅葉の名所としても有名な東福寺(京都府)や博多祇園山笠発祥の地・承天寺(福岡県)を開山しました。

3 中国の進んだ文化を日本に広めた

宋より千巻に及ぶ巻物を持ち帰り、当時の中国の進んだ文化(水車・製粉機、そば・うどん、まんじゅう、人形など)を日本に伝えました。

「お茶のまち」静岡市

1 全国有数の茶産地

静岡市には「静岡本山茶」「清水のお茶」があり、歴史が古く、多くの茶畑やさまざまなお茶がある全国有数の茶どころです。

2 お茶の集散地

静岡市は全国からお茶が集まるまち、茶商さんが多いまちです。

3 お茶の条例のあるまち

「静岡市めざせ茶どころ日本一条例」を制定し、魅力ある「お茶のまち」を目指しています。



静岡市「お茶の日」が決まるまで

平成21年4月 静岡市めざせ茶どころ日本一条例施行
※条例第9条第1項 抜粋

静岡のお茶に親しみ、静岡のお茶の伝統、文化、産業等について理解を深め、その魅力を国内外へ発信するため、お茶の日を設ける。



平成22年3月 静岡市「お茶の日」制定！



「お茶の日」には…

○お茶でホッとひと息

お茶は、人をホッとさせます。お茶の日には、家族や友人とお茶を飲んでホッとした時間を楽しみましょう。

○お茶のまち静岡市を楽しもう

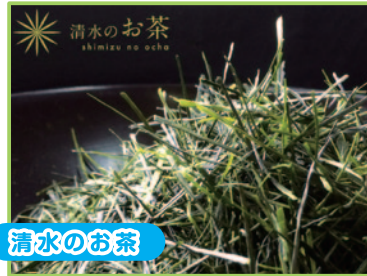
静岡市はお茶の産地であり、集散地です。いろいろなお茶の楽しみを見つけ、お茶のまちを楽しんでください。

静岡市の「二大ブランド茶」



静岡本山茶

静岡市を縦断する安倍川とその支流である藁科川の流域周辺で生産される、静岡県の茶産地の中で最も古い歴史を持つお茶です。



清水のお茶

「針のような形状の茶葉」と「金色の水色」が最大の特徴であり、鎌倉時代には「駿河の清見」として、五大産地の一つにも数えられた歴史を持つお茶です。

お茶の美味しい入れ方

お茶を美味しく入れるには、ここがポイントだよ！

お湯の温度 茶葉の量 抽出する時間



1 お湯のみにお湯を8分目(約100cc)ほど入れてお湯を冷ます。



ポットから直接お湯のみに入れたら、温度が80℃くらいに下がるよ。

※湯冷ましを使う方法もあります。

2 お茶の葉(煎茶)を急須に入れる。



スプーン大さじ1杯(約4g)が2人分の目安だよ。

3 しばらく置いて、お湯が70℃くらいまで冷めたら急須に注ぎ入れる。



お湯が熱いので、やけどしないよう注意してね。

※お茶の種類によって適温が異なります。

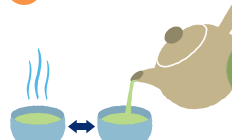
4 お湯を入れてから40～60秒ほど待つ。



お茶の種類によって待つ時間が違うんだよ。

※普通煎茶:60秒程度
深蒸し煎茶:40秒程度

5 時間がきたら、お湯のみにお茶を注ぐ。



お茶は少しずつ交互に注ぐと、味や色が同じになるんだ。そして、最後の一滴まで注いでね。

完成! だいたい分かったかな?



静岡市「お茶の日」には、家族・友人と「静岡市のお茶」を楽しみながらホッとした時間を過ごそう!

お茶のまち静岡市

詳しくは、下記のホームページをご確認ください。

<http://www.ochanomachi-shizuokashi.jp/>

お茶のまち静岡市

検索

